

2022年9月期全塾協議会定例会議事録

2023年8月11日

全塾協議会

全塾協議会規約 第22条第1項に基づき、2022年9月30日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。ただし、役職役名ならびに条数は議会当時のものである。

議事概要記録

名称	2022年9月期全塾協議会定例会
場所	対面（日吉キャンパスJ412教室）、オンライン(Webex)併用
日時	2022年9月30日 15:30～19:20

出席者

	塾生代表	山田健太
文化団体連盟本部	文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長	松尾和真
体育会本部	体育会本部 主幹	菊池龍志
全国慶應学生会連盟	全国慶應学生会連盟常任委員会 委員長	東條克哉
全塾ゼミナール委員会	全塾ゼミナール委員会 委員長	三河創太
四谷自治会		欠席
芝学友会		欠席
福利厚生機関	福利厚生機関本部 代表	松尾和真
	全塾協議会事務局 事務局長	後藤美汐
	全塾協議会事務局より他6名	
以下議案提出者	卒業アルバム委員会 委員長	篤田侑樹
	文学部社会学ゼミナール委員会 新代表	寺原クレオ美陽
	法学部政治学科ゼミナール委員会 財務	河野さわ
	湘南学祭実行委員会 代表	新村彪雅
	矢上祭実行委員会 財務	松下香穂
	三田祭実行委員会 財務局長	佐藤のぞみ
	全塾ゼミナール委員会 財務	栗原歩美
	應援指導部 定演会計	根本泰成
	應援指導部 会計	中島由茉
	慶早戦支援委員会 財務	鈴木彩香

次第

項目	
1. 開会宣言	事務局長 後藤美汐
2. 塾生代表挨拶	塾生代表 山田健太
3. 定足数確認	議事部 在原拓哉
4. 配布資料の確認	
5. 議事録作成報告	
6. 議長の指名	
7. 議事	
(1) 塾生代表報告 [20220930-01-JSD]	塾生代表 山田健太
(2) 事務局報告 [20220930-02-JMK]	
i. 議事部報告	議事部 在原拓哉
ii. 広報部報告	事務局長 後藤美汐
iii. 財務部報告	事務局長 後藤美汐
iv. 総務政策部報告	事務局長 後藤美汐
v. 事務局長報告	事務局長 後藤美汐
(3) 卒業アルバム委員会の独自財源特別承認申請 [20220930-03-SAI]	卒業アルバム委員会 委員長 篤田侑樹
(4) 卒業アルバム委員会の予算における指摘事項に関する報告 [20220930-03-SAI]	
(5) 文学部社会学ゼミナールの交代報告 [20220930-05-BSZ]	文学部社会学ゼミナール委員会 新代表 寺原クレオ美陽
(6) 経済学部ゼミナール委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220930-06-KZZ]	経済学部ゼミナール委員会 財務 山岡 詩莉
(7) 法学部政治学科ゼミナールの独自財源特別支出承認申請 [20220930-07-HSZ]	法学部政治学科ゼミナール委員会 財務 河野さわ
(8) 湘南学祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [202209030-08-SNG]	湘南学祭実行委員会 代表 新村彪雅
(9) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220930-09-YGM]	矢上祭実行委員会 財務 松下香穂
(10) 三田祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220930-10-MTI]	三田祭実行委員会 財務局長 佐藤のぞみ
(11) 全塾ゼミナール委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220930-11-ZZI]	全塾ゼミナール委員会 財務 栗原歩美

(12) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請 [20220930-12-SGK]	應援指導部 定演会計 根本泰成 会計 中島由茉
(13) 應援指導部の交付金特別支出承認申請 [20220930-13-OES]	應援指導部 会計 中島由茉
(14) 慶早戦支援委員会の交付金特別支出承認申請 [20220930-14-KSI]	慶早戦支援委員会 財務 鈴木彩香
(15) 議員の選挙管理委員会の委員の任命に関する議案 [20220930-15-OTR]	議員 松尾和真
(16) 議員の選挙管理委員会の監査役の任命に関する議案 [20220930-16-OTR]	
(17) 塾生代表の所属団体に関する議案 [20220930-17-JSD]	塾生代表 山田健太
(18) 塾生代表の2022年度全塾協議会予算に関する議案 [20220930-18-JSD]	
(19) 塾生代表の全塾協議会における書面での押印に関する議案 [20220930-19-JSD]	
(20) 塾生代表の全塾協議会規約及び規則の変更に伴う議案 [20220930-20-JSD]	
(21) 湘南学祭実行委員会の交代報告 [20220930-21-SNG]	湘南学祭実行委員会 代表 新村彪雅
8. 連絡事項	議事部 在原拓哉
9. 閉式宣言	事務局長 後藤美汐

議決事項

議案識別子	提出者	議案名	可否
20220930-01-JSD	塾生代表	業務報告	採決なし
20220930-02-JMK	全塾協議会事務局	業務報告	採決なし
20220930-03-SAI	卒業アルバム委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220930-04-SAI	卒業アルバム委員会	予算における指摘事項に関する報告	採決なし
20220930-05-BSZ	文学部社会学ゼミナール委員会	交代報告	採決なし
20220930-06-KZZ	経済学部ゼミナール委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220930-07-HSZ	法学部政治学科ゼミナール委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220930-08-SNG	湘南学祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220930-09-YGM	矢上祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	修正
20220930-10-MTI	三田祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220930-11-ZZI	全塾ゼミナール委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220930-12-OES	應援指導部	独自財源特別支出承認申請	可決
20220930-13-OES	應援指導部	交付金特別支出承認申請	修正
20220930-14-KSI	慶早戦支援委員会	交付金特別支出承認申請	可決
20220930-15-OTR	議員 松尾和真	選挙管理委員会の委員の任命に関する議案	可決
20220930-16-OTR	議員 松尾和真	選挙管理委員会の監査役の任命に関する議案	可決
20220930-17-JSD	塾生代表	所属団体に関する議案	可決
20220930-18-JSD	塾生代表	2022年度全塾協議会予算に関する議案	可決
20220930-19-JSD	塾生代表	全塾協議会における書面での押印に関する議案	可決
20220930-20-JSD	塾生代表	全塾協議会規約及び規則の変更に伴う議案	採決なし
20220930-21-SNG	湘南学祭実行委員会	交代報告	採決なし

2023年8月11日 議事録作成

全塾協議会事務局 事務局長 後藤美汐

(署名)

全塾協議会規約第22条に基づき、事務局長の署名は省略する。

この議事録が正確であることを証する。

塾生代表

山田健太

(署名)

山田 健太

全塾協議会 議長

松尾和真

(署名)

2023年8月23日付で議事録を真正なものであると確認した。

議事詳細記録

1. 開会宣言

事務局長 後藤美汐が開会を宣言した。

2. 塾生代表挨拶

塾生代表 山田健太が挨拶を行った。

3. 定足数確認

議事部 在原拓哉より点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。

4. 配布資料確認

議事部 在原拓哉が、既に配布された資料の確認を行なった。

5. 議事録作成報告

議事部 在原拓哉は、新入局員に依頼した議事録が本日締切であるため、チェックが終了次第HPに載せる旨を報告した。

6. 議長の指名

議事部 在原拓哉は、全塾協議会規約第10条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、満場一致を以て文化団体連盟三田本部常任委員会委員長 松尾和真が議長に選任された。

7. 議事

(1) 塾生代表の業務報告

塾生及び慶應義塾公認団体、慶應義塾大学、所属団体との面談を行った。また、2022年度全塾協議会予算調整や所属団体の所属団体の交代承認を行い、各種定例会へ出席した。その他所属団体の監督も行った。

(2) 事務局の業務報告

i. 議事部報告

全塾協議会定例会の準備として式次第の作成、日程調整、議案提出関連のメール対応を行なった。また、交代の手続きや決議書、登記書類の回収等、所属団体の提出物の確認の基本業務を行なった。それに加え、新入局員に向け、議事録作成説明会を開催した。その他、登記事項確認書以外の交代書類についてのGoogleフォーム作成を行った。

ii. 広報部報告

ホームページの更新と、ホームページリニューアルに関する検討を行った。

iii. 財務部報告

予算折衝と2次監査の実施を行った。9月初頭にはリーダーズキャンプの運営を終了した。その他特別支出許可番号の発行作業や、学生部への自治会費交付金受領書の作成を行った。また、国際関係会への交付金返還手続き対応を行った。

iv. 総務政策部報告

まず特別委員会への人員抛出を行った。また、各種面談や、事務局内資料の整理や事務局内各種ツールの整備等基本的な業務を行った。その他、規約を改修した。

v. 事務局長報告

各種面談の対応や各種資料の確認、新入局員と1 on 1及び事務局人事の更新を行った。

(3) 卒業アルバム委員会による独自財源特別支出承認申請

卒業アルバム委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥8,386	事前	電車代	早慶戦撮影のため	2022年10月
2	¥2,400	事前	昼食代	早慶戦撮影のため	2022年10月

その内容は、①剣道の早慶戦撮影にかかる交通費796円②水上スキー早慶戦撮影にかかる交通費900円③バドミントン早慶戦撮影にかかる交通費3,960円④剣道の早慶戦撮影にかかる交通費2,730円⑤早慶戦撮影にかかる飲食費2,400円である。

塾生代表 山田健太は交通費に関しては一定の基準を設け、それ以上の支出が生じた場合にのみ交通費を支出する方法を提案した上で、交通費は最安値で支出すること、飲食費も出来るだけ低価格で抑えることを要請した。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(4) 卒業アルバム委員会による予算における指摘事項に関する報告

卒業アルバム委員会より表題の議案が上程された。昨年度から経費を抑えるために印刷会社の選定を行っていたため、その経緯に関する報告を行った。三つの印刷会社で比較を行った結果、変更しないことを決定した。塾生代表 山田健太は前任の財務担当が所持している見積書を10月期定例会にて提出することを要請した。

(5) 文学部ゼミナール委員会による交代報告

文学部ゼミナール委員会より交代報告承認申請が上程され、新委員長に寺原クレオ美陽が就任した。また、同委員会新会計には沓沢珠希が就任した。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(6) 経済学部ゼミナール委員会による独自財源特別支出承認申請

経済学部ゼミナール委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1 ¥60,000	事前	景品代	バレーボール大会での優勝景品代のスターボックスカードの購入代として	2022年10月
2 ¥36,000	事前	荷物運送代	バレーボール大会での荷物運送代 片道 6,000円 X 6	2022年10月
3 ¥180,000	事前	景品代	三田祭論文コンクールの景品代として (備考:金賞 50,000円、銀賞 30,000円、銅賞 10,000円分の図書カード、各2組)	2022年11月
4 ¥40,000	事前	採点報酬代	三田祭論文コンクールの助教授にお支払いする採点報酬 (図書カード 5,000円分 X 8名)	2022年11月
5 ¥44,220	事後	Zoom 有料化代	定期ミーティングの為の Zoom 有料化代 (Zoom Pro 年額 22,110円 X 2名 (委員長 1名, IT・広報担当 1名))	2022年5月

その内容は、①バレーボール大会での優勝景品代として贈答費 60,000円②バレーボール大会での荷物運送代として運送費 36,000円③三田祭論文コンクールの景品台として贈答費 180,000円④三田祭論文コンクールの助教授にお支払いする採点報酬として贈答費 40,000円⑤定期ミーティングのための zoom の料金代として通信費 44,220円である。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は景品を付与する基準を確認した上で、本決議を承認した。

(7) 法学部政治学科ゼミナール委員会による独自会財源特別支出承認申請

法学部政治学科ゼミナール委員会より独自会財源特別支出承認申請が上程された。

許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1 ¥31,710	事前	レンタカー代 / ガソリン代	三田キャンパスから会場のグラウンドまで道具を運ぶ際の交通費	2022年10月中旬
2 ¥99,000	事前	ソフトボール大会景品代	大会上位チームに対する図書カード代	2022年10月中旬

その内容は、①ソフトボール大会で道具を運ぶための交通費 31,710円②ソフトボール大会の上位チームへの景品代として贈答費 99,000円である。塾生代表 山田健太はレンタカーの代替としてタイムズカーシェアなどの手段を提案した。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(8) 湘南学祭実行委員会による独自会財源特別支出承認申請

湘南学祭実行委員会より独自会財源特別支出承認申請が上程された。

許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1 ¥66,669	事後	ボールペン代	クラウドファンディング返礼品	2022年9月後半

2	¥8,510	事後	レターパックライ ト代	クラウドファンディング返礼品 送付用	2022年9月後半
---	--------	----	----------------	-----------------------	-----------

その内容は、①クラウドファンディングの返礼品代として贈答品費 66,669 円②クラウドファンディングの返礼品梱包材代として贈答品費 8,510 円である。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(9) 矢上祭実行委員会による独自会財源特別支出承認申請

矢上祭実行委員会より独自会財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥1,300,000	事後	人件費	ステージ局有名人企画の有名人依頼 費	2022年12月下旬
2	¥33	事後	紙袋代(1枚)	室内ステージ有名人出演者への差し 入れ用の紙袋	2022年9月下旬
3	¥2,846	事後	水(500ml) ×16本, お茶(500ml) ×9本, コーヒー×7本	ステージ有名人出演者への差し入れ	2022年9月下旬

その内容は、①室内ステージ有名人依頼費として人件費 309,800 円②ステージ局有名人依頼費として人件費 1300,000 円③室内ステージ有名人出演者への差し入れ用の紙袋代として贈答品費 33 円④ステージ有名人出演者への差し入れ代として贈答品費 2,846 円である。

矢上祭実行委員会は①の人件費に含まれる交通費は金額が確定した後で再度申請することとし、取り下げた。また塾生代表 山田健太は、有名人企画の契約が変更となった場合に相手の方に違約のお詫びとして 5,000 円ほど事前申請しておくべきだと要請した。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(10) 三田祭実行委員会による独自会財源特別支出承認申請

三田祭実行委員会より独自会財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥340,000	事前	人件費	第 64 回三田祭の本部企画において出演する ゲストのお車代。	2022年 12月前半
2	¥4,700	事前	トロフィー代	第 63 回三田祭本部企画「體育會王」と第 63 回三田祭本部企画「應金時代」において、企 画優勝者に贈呈するトロフィー代。	2022年 10月後半
3	¥1,500	事前	封筒代	渉外活動又は広報宣伝活動として、企業や学 校に書類をお送りする際の封筒代。	2022年 10月前半

4	¥500	事前	OPP 袋代	渉外活動又は広報宣伝活動として、企業や学校に書類をお送りする際に書類が濡れないよう梱包する OPP 袋代。	2022 年 10 月後半
5	¥700	事前	エアーハンド ポンプ代	第 64 回三田祭本部企画「後夜祭 2022」にて演出のために使用するジェット風船を膨らますためのエアーハンドポンプ代。	2022 年 10 月後半
6	¥12,600	事前	ジェット風船 代	第 64 回三田祭本部企画「後夜祭 2022」にて演出のために使用するジェット風船代。	2022 年 10 月後半
7	¥11,250	事前	サイリウム代	第 64 回三田祭本部企画「後夜祭 2022」にて演出・情宣のために使用するサイリウム代。	2022 年 10 月後半

その内容は、①第 64 回三田祭本部企画におけるゲストのお車代として人件費 340,000 円②第 64 回三田祭本部企画における企画優勝者へのトロフィー代として贈答品費 4,700 円③渉外活動・広報宣伝活動にて使用する封筒代として贈答品費 1,500 円④渉外活動・広報宣伝活動にて使用する OPP 袋代として贈答品費 500 円⑤第 64 回三田祭本部企画にて来場者に配布するエアーハンドポンプ代として贈答品費 700 円⑥第 64 回三田祭本部企画にて来場者に配布するジェット風船代として贈答品費 12,600 円⑦第 64 回三田祭本部企画にて来場者に配布するサイリウム台として贈答品費 11,250 円である。

①のお車代は、3 万円以上を支出しないことを相手の方から同意をいただいております、②のトロフィー代に含まれる送料は業者の方からトロフィーが送られてくる際の送料であり、⑦のサイリウムは、450 人を目処とした予算であることが確認された。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(11) 全塾ゼミナール委員会による独自会財源特別支出承認申請

全塾ゼミナール委員会より独自会財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥330,000	事前	出演料	三田祭における四学部合同講演会への出演料	2022 年 11 月
2	¥420,000	事前	本代	四学部合同講演会の講演者が著者である本を講演会参加者に配るために書籍を購入	2022 年 11 月
3	¥2,160	事後	お土産代	業界講演会の登壇者様へのお土産代	2022 年 9 月 末
4	¥780	事後	お茶代	業界講演会の登壇者様へのお茶(500ml)代	2022 年 9 月 末
5	¥22,680	事前	お土産代	業界講演会の登壇者様へのお土産代	2022 年 10 月 ～11 月
6	¥8,190	事後	お茶代	業界講演会の登壇者様へのお茶(500ml)代	2022 年 10 月 ～11 月

その内容は、①四学部合同講演会登壇者、弘中綾香様及び所属テレビ局への出演料として人件費 330,000 円②弘中様が著書である本を講演会参加者に配るために購入した書籍代として贈答品費 420,000 円である。また、事後申請で以下の二つが提出された。③業界講演会の登壇者様へのお土産代 2,160 円④業界講演会の登壇者様へのお茶代 780 円である。その他、事前申請で以下の二つが提出された、⑤業界講演会登壇者様へのお土産代として 22,680 円⑥業界講演会の登壇者へのお茶代として贈答品費 8,190 円である。

本を配ることが条件の出演料であることと、今後は本を配るようなことはないことを全塾ゼミナール委員会委員長と確認した。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(12) 應援指導部による独自会財源特別支出承認申請

應援指導部より独自会財源特別支出承認申請が上程された。

<定期演奏会会計>

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥440	事前	クリアファイル代	定期演奏会広告契約先への資料送付用のクリアファイル代として	2022年10月

<本部会計>

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥217,000	事前	入学試験アルバイト還元金	部員への入学試験アルバイト還元金として	2022年11月後半
2	¥3,100	事前	日本酒代	男子・女子剣道早慶戦の日本酒贈呈式にて使用する日本酒代として	2022年10月頃

その内容は、①定期演奏会広告契約先への資料送付用のクリアファイル代として贈答品費 440 円②部員への入学試験アルバイト還元金として贈答品費 217,000 円③男子・女子剣道早慶戦の日本酒贈呈式にて使用する日本酒代として贈答品費 3,100 円である。

塾生代表 山田健太は、日本酒は贈呈した後どのように使われ、何のために贈呈するのかを確認するように要請した。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(13) 應援指導部による交付金特別支出承認申請

應援指導部より交付金特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥8,400	事前	模造紙代	東京六大学野球秋季リーグ戦慶早戦にて行う人文字企画の模造紙代として	2022年10月後半

2	¥50,000	事前	クリアファイル代	東京六大学野球秋季リーグ戦慶早戦にて観客に配布する早慶合同ファイルの作成費として	2022年10月後半
3	¥25,000	事前	カップ代	東京六大学野球秋季リーグ戦慶早戦にて観客に配布する神宮コラボカップの作成費として	2022年10月後半

内容は、①東京六大学野球秋季リーグ戦慶早戦にて観客に配布する模造紙代として贈答品費 8,400 円②東京六大学野球秋季リーグ戦慶早戦にて観客に配布する早慶合同ファイルの作成費として贈答品費 50,000 円③東京六大学野球秋季リーグ戦慶早戦にて観客に配布する神宮コラボカップの作成費として贈答品費 25,000 円④東京六大学野球秋季リーグ戦慶早戦にて観客に配布するハリセンの作成費として 280,000 円である。

塾生代表 山田健太は、紙メガホンが一枚 16 円程度である一方で、ハリセン代が一枚 28 円で贈答品費として妥当な金額ではないと考えられるため、④の申請を取り下げよう要請した。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(14) 慶早戦支援委員会による交付金特別支出承認申請

慶早戦支援委員会より交付金特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥5,000	事前	景品代	東京六大学野球早慶戦に向けた事前の広報活動の際に行う、プレゼント企画の景品購入費として	2022年10月中旬
2	¥55,000	事前	レンタカー代	東京六大学野球早慶戦当日の荷物運搬および優勝パレードの際の備品運搬のため	2022年11月上旬
3	¥27,000	事前	電車代	東京六大学野球早慶戦の応援席券の、三田キャンパスでの夜間販売や湘南藤沢キャンパスでの販売にあたって、非所属キャンパスへ部員を派遣する際の電車代負担を軽減するため	2022年10月中旬～下旬

内訳は、春の慶早戦と同じく、レターパックを 370 円、タオル発送（簡易書留 300 円）を 540 円、三色旗のゆうパック代、グッズ発送費、レンタカー借用費、早慶戦の応援席券の発売、部員の交通費の支給（27000 円の詳細は日吉に三田所属の部員が移動、SFC 部員の移動、湘南藤沢への移動、夜間販売も日吉部員、SFC 部員が三田へという移動のため）である旨説明があった。

事務局長 後藤から、プレゼント企画の算出根拠について質疑があり、委員会は三色旗などの慶應グッズが例年 5000 円程度となっていることを理由として挙げた。これを受けて、後藤は事前申請ではあるが、詳細も今後は記載していただきたい旨要請した。また、同氏から交通費に

関して、定期はないかを確認してからのものか質疑があり、現時点では確認していない旨回答があったため、確認するよう要請があった。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(15) 議員による選挙管理委員会の委員の任命に関する議案

議員である文化団体連盟三田本部常任委員会委員長 松尾和真より表題の議案が上程された。任命された委員は以下の通りである。

委員(委員長)	藤村 悠哉(医学部 4 年)
委員(副委員長)	松尾 和真(経済学部 4 年)
委員	舟山 純平(環境情報学部 2 年)
委員	高砂 柚乃(文学部 1 年)
委員	田畑 海登(理工学部 1 年)

ここで副委員長である福利厚生機関本部代表 松尾和真の挨拶があった。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(16) 議員の選挙管理委員会の監査役の任命に関する議案

議員である文化団体連盟三田本部常任委員会委員長 松尾和真より表題の議案が上程された。任命された監査役は以下の通りである。

監査役	古山 華梨(文学部 1 年)
-----	----------------

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(17) 塾生代表による所属団体に関する議案

塾生代表より表題の議案が上程された。山田から、三田祭実行委員会に 2022 年度予算を交付するに際し、財務状態が健全である前提条件を付したため、来年度の予算を策定するために今の段階で話を決めておきたい旨発言があり、来年度の減点数を 150 点以下に収めることが提案された。根拠として、通常減点数の平均は 60~100 点くらいであるが、学園祭の団体は支出が同時期にかさむことで減点数が大きくなってしまふことがあり、そのため 150 点とした旨説明があった。

また、前項が守られなかった場合、塾生代表は 2022 年度と比較し 2023 年度交付額を大幅に減額し、三田祭実行委員会は不服を申し立てないことを全塾協議会の取り交わしとしたい旨発言があった。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(18) 塾生代表による 2022 年度全塾協議会予算に関する議案

塾生代表より表題の議案が上程された。

山田は 9 月 1 日から 3 日にかけて行われたリーダーズキャンプを受け、2022 年度全塾協議会予算を組んだとした。

事務局については、1 点目に事務局長と議論を交わし必要なコストを出すことになり、印刷費などのコストは削るように議論はする旨発言した。額面は高いが、IT 系を強化していくために

Google Workspace のアカウントを1つ作るようにすると加えて述べた。2点目として、全塾協議会 Slack 代を事務局につけているので60万円から80万円になったとした。

應援指導部については、話し合いの末145万円の申請を140万円にした。塾生動員企画については春の分だけ交付し、ここで結果が出ていれば、プラスアルファで来年申請できれば筋が通るとした。三田祭実行委員会は17番項にて述べた通りであるとした。続いて矢上祭実行委員会について、ステージ代の全額負担はやはり高いので、来年以降の改善にはなるが、今年の時点から削っているとの旨、60万円削ろうと思ったが、来年に解決するというので30万円のみに削った旨発言した。優勝準備委員会については、満額交付して結果を出せないのであれば、来年発足させなければ良いという形にすれば十分だと考える旨説明があった。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(19) 塾生代表による全塾協議会における書面での押印に関する議案

塾生代表 山田健太より表題の議案が上程された。山田は、全塾協議会において押印の文化があるとした。コロナでの状況もあるが、これから先デジタル時代に向けて、ハンコや紙エクセルについては改善していくように、慶應義塾だけでなく、塾生の益となる我々も提案していかなければならないと述べ、まずは登記の電子化をすることを述べた。現在特有の問題として、押印に伴うキャンパスの行き来などの負担が偏在しているので、不必要な押印は無くしていくべきだが、訂正印などなくせないものもある。そのため必要性を加味し、必要に応じてなくしていくべきだと述べた。こちらの方針を今年の任期内までに実施したいとの旨発言があった。

コストパフォーマンスなどは検討しなければならないが、可能な限りは電子化していく方針だとし、例として「山田」のハンコはどこでも買えるのでハンコのセキュリティ性はゼロに近いと考えるとした。ちょっと違うハンコでも目視ではわからず、ハンコの必要性は難しいところであるので、制度の見直しの一環として強く推進していきたいと述べた。

全塾協議会は本議案を全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(20) 塾生代表による全塾協議会規約及び規則の変更に伴う議案

塾生代表 山田健太より、表題の議案が上程され、次の通り発議があった。

議論事項は以下の通りである。

1. 討論会に関して
2. 主要な規約規則の変更点に関して
 - A) 規約・規則等の名称に関して
 - 1 所属団体等との被り等を懸念
 - B) 執行令(仮称)の制定に関して
 - 1 規約・規則に次ぐ拘束力を有する執行機関発行の令を想定
 - C) 特別委員会の取り扱いに関して
 - 1 継続性を有する場合の取り扱い

全塾協議会の規約規則の変更の検討について、今月中に進める予定が管理不足で進むことができなかつたため、今回、検討会の日程を決めたい。検討会の時間帯は、昼間は忙しく、夜過ぎるのは良くないため、20時から21時半とし、所属団体であれば自由に参加できる形にする。

議員の方が誰も来られないのであれば日程は検討し直すが、特段問題ないため資料通りの日程で進行する。

規約規則の主要な変更点としては、現状に即させる点と別に、幾つか議論をしたいことがある。変更点の1つ目としては、全塾協議会の最高法規は全塾協議会規約である。例えば湘南自治会では、自分達の最高法を「憲章」と呼んでいるとし、「規約」という名前では同様のものがたくさんあるので、変えてもいいのではという意見があったとした。

2つ目として、例えば国では、法律でまかなえきれない部分があり、省令・条例というものが執行機関サイドにあるとし、現状、全塾協議会にも議案提出日などのルールがあるが、そういったところに今はグレーなルールがあるため、その際に執行機関の塾生代表からの執行令をルールづけたい。暴走した場合は、議員に罷免権があるようにし、執行機関が暴走しないように実行できるような形にしたいとした。公開されている事例として、様々なものを行っていくというルールだとした。

3つ目については、特別委員会である。毎年発足しているものも、委員会規則の草案ができておらず、毎年新規発足のようになっていることを指摘し、毎年発足するという仕様自体が合理的ではないと述べた。優勝準備委員会についてはその状態が何十年も続いているとし、昔は所属団体だったが特別委員会に変わった経緯を述べた。今の特別委員会とは違う枠組みを作るのか、常設の機関は議会と同じように、別途の枠を作るかなどを検討していきたいとした。

議員 三河創太より、Aの名称については基本的に賛成であるとした。Bについては、執行令というものを設けるのは賛成である。法令に反してはいけないが、法令に書いてない場合は解釈に頼らざるを得ないとした。三権分立の話になると、我々は議会であって司法権ではないとし、それを判断できるのかという問題はあるが、かといって司法を作るのも難しそうであると質疑をした。山田は現行の司法権は議会にあるとの考えを示した。根拠として処分審査会の意思決定の承認も議会であることを挙げた。議会を監視するのは塾生であり、議案をもみ消すことはせず、選挙も実施されるので、究極的な監視は塾生になる。執行令はいつでも出せるが、出した次の議会で承認を取り否とできるシステムを作るのが良い気がするとし、それを規約に定めようという考えを述べた。議員から3名以上反対が来たら一時的に止める、議員に事前通告するなどが必要などの枠組みがあってもよい旨回答があった。

議員 東條克哉からは、Aの名前についてはいいと思うが、細かいものを執行令という形でやるのかと質疑があった。山田は、例えば今は財務管理の手引きがあり、違反した場合は監査で減点されるだけで、究極的には罰則はないと述べた。しかし、それに従う根拠を作る意味はあると思うと回答があった。これを受けて、発令は塾生代表かと再度質問があり、山田は事務局と調整することもあると思うが、最終的には私の名義で書くと回答があった。これを受けて、執行機関とはと再度質問があり、山田は代表と事務局を想定してください。議会では代表と事務局長になる。実際に動くのは執行機関になると回答があった。これを受けて、司法がどこにあるかとは思っていたが、議会だったのかと発言があった。

議員 菊池龍志からは、疑問点は特にないので、検討会に参加してお話したいと発言があった。

議員 松尾和真(文化団体連盟三田本部)は、みなさんがおっしゃる通りだと述べ、執行令についてはどうなるのと思うところがあるため、その点について議論に参加したいと発言があっ

た。山田からは、議員の正当性もここで話したいとし、東條さんと松尾さんはあれからどういうふうが続けていくかについて、何か考えたかと質問があった。

議員 松尾和真(福利厚生機関本部)は「動かなきゃなと思っている。応援指導部、国際関係会などで塾生への福利厚生は図れると思う」と、東條は「OB と関わったり、高校生と関わっている。塾生の意義になるようにしたい」とそれぞれ回答した。

最後に、山田から「全慶連を介してのみ高校生が参加できるとかはいいかも。高校生については、全国に散っているからこそできるかもしれない。司法だとしても司法の正当性はまた問われてくる」と発言があった。

(21) 湘南学祭実行委員会による交代報告

湘南学祭実行委員会より表題の議案が上程された。新任者は以下の通りである。

2023 年度 代表 総合政策学部 総合政策学科 2 年 新村彪雅

2023 年度 財務担当者 総合政策学部 総合政策学科 2 年 亀井佑馬

新村と亀井よりそれぞれ挨拶がなされた。

8. 連絡事項

在原より次回全塾協議会の日程が未定であることを伝えた。また、山田「基本的に 10 月から第 3 土曜日に開催したい。これで予定しておきたい」との発言があった。

9. 閉会宣言

事務局長 後藤が閉会を宣言し、19:20 に閉会した。